



2023 SUPER FORMULA Rd.8/9
2023.10.27-29 SUZUKA CIRCUIT



はじめに

茂木で悔しい思いをしてから2ヶ月がたち、最終戦鈴鹿大会を迎えました。自分自身のドライビングとマシンのフィーリングの双方が格段に良くなった富士テスト以降、予選では3位、2位と上位が続いており今大会は今シーズン1番の自信を持ってサーキットに向かいました。

10月27日(金) フリープラクティス

今大会は2レース開催のため、公式練習が金曜日の午後に行われました。第3戦以来の鈴鹿でしたが、マシンのコンセプトを大きく変えていることで全く違ったフィーリングを感じられ、セッション前半から良い感触で進めていくことができました。事前に準備していたセットアップをいくつか試し、それぞれのデータを確認して最後のニュータイヤアタックを行いました。結果は5番手と悪くなく、明日の予選に期待が高まるものでした。しかしながら、予選の時間は土日共に朝9時前後ということもあり、コンディションの変化が想定されるため気温や風向きの変化を加味した慎重な準備をチームと行なっていました。

10月28日(土) 予選(4位)

朝9時にスタートした第8戦予選は、想定通り昨日の公式練習よりも低い気温下で行われることとなりました。ウォームアップを慎重に行いQ1のアタックに入りましたが、フィーリングは良く2番手で通過となりました。トップと僅差でQ1を突破することができたのでQ2に対してはポールポジションの期待が高まる状況でした。

Q2に入りセクター1を悪くないタイムで通過しましたが、デグナーに入る付近で赤旗が提示されセッション中断となりました。セッションはラスト3分間でリスタートすることになりましたが、ここで我々は先程アタックしたユーズドタイヤを選択し、コースに戻りました。アタックは悪くありませんでしたが、結果は4番手と少し悔しい結果になりました。前3台はニュータイヤを装着していたので、結果的にはそちらの判断が正解だったかもしれませんがセカンドローという位置は悪い位置ではないので、決勝に向けて気持ちを切り替えて準備を進めていきました。

10月28日(土) 決勝(3位)

2列目からスタートすることとなった第8戦は、スタートに少し不安がありましたが結果的に1周目に2つポジションを上げることに成功しました。2周目にOTSを使用した後車にパスをされてしまいますが、そこからはトップ2についていきレースでのマシンバランスも良いフィーリングでした。レースは後方で大クラッシュが発生したため、6周で赤旗終了となり、初表彰台が確定しました。フルレースでも戦っていた感触があったので少し残念でしたが、まずは初めての表彰台を獲得できたことが嬉しかったです。





10月29日(日) 予選(2位)

土曜日のレースで表彰台を獲得できたので、日曜日はポールポジション獲得と優勝することを本気で狙う1日になりました。Q1は悪くないアタックで2番手通過と、昨日同様にポールを狙える良いフィーリングでした。Q2に向けてマシンセットをアジャストし、今年最後の予選アタックに臨みました。どのセクターもミスなく、まとめ上げることができたので正直ポールを取れたんじゃないかと思いましたが、結果は2位でした。1位、3位、4位がチャンピオン争いをしている選手たちで、その間に割り込めたのはよかったですがポールが取れなかったことに悔しさが残ります。

10月29日(日) 決勝(1位)

フロントローからのスタートとなった第9戦は、チャンピオン争いの選手に囲まれて緊張感のあるものでした。昨日のレースではスタートでポジションを上げることができたので、このレースも入念に話し合いをして良いスタートを切れるように準備しました。その結果、スタートでトップに立ちオープニングラップで2位を1秒以上離すことに成功しました。

そこからは常に2番手の選手が後ろにいる状況でしたが、タイヤをマネジメントしながらギャップを保ち、後ろがピットした次の周にタイヤ交換を行いました。課題であったアウトラップもいいペースで走ることができ、トップをキープしその後もピットに入っていない、実質バックマーカーの処理をスムーズにすることができました。後ろを抑えながらの31周は非常に長く感じましたが、ミスすることなく走り切り初優勝を叶えることができました。

必要に応じてOTSを使用したり、タイヤをマネジメントしたりと間違いなくルーキーイヤーの集大成と言えるレースができたと思います。

おわりに

怪我から始まり、なかなか結果が出ずに苦しんだ前半戦からは想像もできない結果でシーズンを締めくくることができました。このような結果で終わることができたのも、ホンダ様、ダンディライアンの皆様のおかげです。自分自身としましても、この一勝が大きな自信となりましたので、来シーズンはチャンピオンを獲得できるようにこれから頑張っていきたいと思っています。引き続きどうぞよろしくお願いいたします。



